

おれんじの屋根

施設長より

「外泊や自宅への外出、面会等の停止が続いた1年でしたが、」

新年早々からのオミクロン株による感染拡大の第6波、7月からの第7波は現在に至るまで収束の気配を見せないまま第8波に移り、12月に入ってから、県内の新規感染者数が4千人に迫る勢いで年末・年始を迎えつつあります。

しょうぶの里では、新型コロナウイルス感染対策として、これまで、感染の状況を見ながら、利用者さんの外泊や自宅への外出、面会、短期入所などの停止と再開を行ってきましたが、今年は1月からずっと停止したままで1年が終わろうとしています。

帰省を望んでおられる利用者さん、そして、ご家族、さらには、短期入所が停止となって、子どもさんを預けることができずに困っておられる方々も多いだろうと、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

世間では、オミクロン株は症状が軽いので、もうそんなに警戒しなくてもよいのではないかという風潮や、「2類相当」から「5類」への引き下げも検討されているようです。

ですが、集団での生活に加え、支援の必要上、職員と利用者さんが直接接する障がい者施設では、ひとたび新型コロナウイルスが入り込めばクラスターは避けられないでしょう。今後も今の対応を継続せざるを得ないととても残念な状況が続いています。

このような状況が長期化する中、利用者さんもお家族もずいぶん我慢をされ、その我慢する生活が日常になり、「会いた

い」、「帰りたい」という希望や願いが叶わず、叶わない生活が長くなることで、段々と会わないことが“普通”や“日常”になってしまう、これが一番恐ろしいことだろうと思います。

コロナ前に比べて、この会いたいと思う気持ちやさまざまな活動への意欲やモチベーションなどが低下してしまうのではないかと心配をしています。私たちはコロナが収まったとき、以前の生活に戻れるのだろうか？と。

令和3年5月のこの欄で述べたとおり、親子が生涯で一緒に過ごす時間はそんなに多くはないそうで、親ごさんが高齢化される中、時間はさらに貴重になっています。

そんな今、何とかしてその時間を多くできないかと模索もしています。

外泊や自宅への外出、面会停止を原則としつつも、職員のアイデアで、季節のいいときは、玄関先にテーブルとイスを出して面会をしていただく(寒い季節など難しいときは、新作業棟で距離を取って面会)、あるいは、職員が自宅へ書類(今ならマイナンバーカード)を届けに行く際に、利用者さんも同行して家族と会えるようにといった工夫。また、しょうぶの里での活動の様子画像を入れた利用者さんの自筆のハガキや手紙を自宅に送ったりもしています。

今の閉塞された状況を根本的に解決する方法はなかなか見つけませんが、少しでも改善したり補う方法がないか、今後も職員で模索したいと考えているところです。

書き遊ぶ「合い言葉」

最近、人の名前やさっきやろうとしていた用事を忘れるようになりました。年をとっても記憶力盛んな人もいらっしゃるでしょうが、大半の人は老化が原因でちよくちよく忘れるし、それが自然の現象なのです。防ぐ方法が必要です。

私はメモを活用しています。広告で裏が白紙なら必ずハサミで切ってメモ用紙にします。そして、何か思いついたらすぐメモします。

これくらい覚えられるので大丈夫とつい手を抜こうとしますがそういう時に限って忘れてしまいます。70歳過ぎたら決して自分を信じてはいけません。`何かある、`何か忘れている、と自分を疑うのが平穩無事への近道です。

ゆうゆう会会長の瀬上です。なかなかコロナが落ち着きません。令和5年が良い年でありますように願っています。

いつも自分に言い聞かせる合い言葉が必要です。『振り返れ』と一つ用事を済ませるたびに言ってみましょう。物を置き忘れていたり、スイッチを切り忘れていたり、鍵を閉め忘れていないことに気づくでしょう。

若い人は大丈夫でしょうが、振り返ることで忘れ物や交通事故を防げるかもしれません。振り返りにデメリットはなくメリットだけある有効な行為だと思います。何となくやっていませんか？振り返りましょう。





還暦祝

11月24日(金)に今年還暦を迎えられる3人のご利用者様のお祝いの会を催しました。

鯛の人形のうろこの部分や、祝い船の大漁旗、はたまたくす玉などに、メッセージカードが飾られています。読むのも見るものとても楽しめます。施設長や利用者さんの代表の方からのお祝いの言葉に3人とも終始ニコニコとされていました。

袋菓子で作られたリュック ^^)



秋の遠足

11月18日(金)、施設内の全館ワックスがけのため、山鹿市の県立芸術古墳館へ出かけました。インフォホールで「松尾敬宇とその母」というアニメ映画を鑑賞後、県内主要芸術古墳レプリカの展示を見学。その後、学習室をお借りして昼食のお弁当をみんなで食べました。

食後は天気も良かったので古墳館内外の散策をそれぞれの班に分かれて楽しみました。



給食室より

1月 イベントメニュー

- 1月11日 書初め新年会おやつ (白玉ぜんざい)
- 1月13日 誕生会
- 1月20日 リクエストメニュー(昼食)
- 1月26日 リクエストメニュー(昼食)

<マグネシウムについて>

寒さで硬直した筋肉や血管を元に戻すにはマグネシウムが使われるため、冬に不足がちです。マグネシウムは海藻類や魚介類、ナッツ類に多く含まれます。冬場では特に海藻を使った料理を日々の食事に取り入れてみましょう。



管理栄養士 厚地

医務室より

今年を振り返って...

本年6月よりしょうぶの里で勤務するようになり、早いもので年末を迎えます。今年を振り返ると、コロナ...コロナ...で終わってしまったような気がします。

しょうぶの里でもコロナの影響で、ご家族の面会・外出外泊の制限、年間行事の縮小、活動の自粛などを行ってまいりました。利用者の皆さんの楽しみを奪っていったコロナ!と思えてまいります。

そのような状況の中でも職員が媒体となってはいけません!という意識を持ち、職員一同「マスク、手洗い、手指消毒」を確実にし、また利用者の皆さんが使用する物品の消毒、環境整備、手指消毒の声かけをして感染症への対策に取り組んでおります。

その成果もあり、今現在しょうぶの里では感染症の発生はありません。職員の協力を感謝です。

今後より一層の注意を払い、感染症への対策を継続していきたいと思っております。

よいお年をお迎えください。

来たる新しい年が皆様にとって幸せな年でありますように...



看護師 武田

<1月の行事予定>

- ☆ 4日(木) 通所開始
- ☆ 10日(火) 職員会議、給食委員会
- ☆ 11日(水) 書初め、新年会
- ☆ 12日(木) 訪問歯科
- ☆ 19日(木) 訪問歯科
- ☆ 20日(金) 第三者評価訪問調査①
- ☆ 23日(月) 職員研修会
- ☆ 24日(火) 第三者評価訪問調査②
- ☆ 26日(木) 訪問歯科

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

4年に一度のサッカーの祭典FIFAワールドカップモラルゼンチンが36年ぶりの優勝で幕を閉じました。2-0で前半を折り返した時点でモラルゼンチン優勝だと思っていたら、後半で2-2と追いつき延長戦へ。ここでモラルゼンチンが3点目を決め、あ〜これで決まりだと思っていたら、またまた追いつくフランス。結局PK戦でモラルゼンチンが勝ったわけですが、さすが決勝戦!ものすごい試合を見せてくれました。どんな状況でも諦めない気持ちの大切さを教えてもらいました。プレーー!!

来年もよろしくお願ひします(^^) / よいお年をお迎えください。

～第68号～

令和4年12月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

